

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	01	0409	視聴覚教育推進事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-3	生涯学習の推進			
	施策	1	自主的学習の推進			
目的	生涯学習の取り組み支援					
対象	市民、市内に勤務先を有する者					
意図	生涯にわたって学ぶ習慣を身につけることができる					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
視聴覚教育事業 ・視聴覚資料の貸出（随時） ・16ミリ映写機操作技術講習会 ・16ミリ映写機オーバーホール（1台）及び保守点検（7台） ・図書館こども映画会（毎月1回） ・夏・冬・春休みこども映画会（各1回） ・子どもの読書週間時 1回 ・秋の読書週間時 1回 ・休日ほっと映画会（毎月1回）						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
事業協力・協定		委託				
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	映画会開催数	回	計画	24	26	
			実績	41	32	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	映画会視聴者数	人	目標	1,400	1,400	
			実績	1,341	1,165	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○ 目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
26年度は、参加しやすい休業期間（夏・冬に春休みを加える）の回数を増やすとともに、4月の子どもの読書週間や秋の読書週間の期間に行うことにより、参加者の増加を見込んだが、各種生涯学習行事があるなかで、こども映画会を2回から1回に集約したことにより、全体的には参加者が減少した。 「こども映画会」25年度1回当たりの参加人数:38人 26年度1回当たりの参加人数:59人	
目的妥当性	公共関与の妥当性 社会教育法第5条第1項17号に規定されている市町村教育委員会の事務である。 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
有効性	成果の向上余地 多くの児童が視聴できる開催時間、開催日を再検討をするとともに、引き続き図書館ホームページに視聴覚ライブラリーの情報掲載や振興センターと連携した映画会を開催するなど、視聴覚資料の利用拡大を図る。 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない ・事業の7割が人件費で、事業費の削減余地はない。 ・非常勤職員1名で映画会を月3回及び夏・冬の休業期間の映画会に対応している。また他には他市町村や市内の団体等への視聴覚資料の貸出しや16ミリ講習会、カウンター業務及びレファレンス業務に当たっており、削減の余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 市内生涯学習団体等に資料等の提供を行っているもので、受益者への偏りはない。 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である
総合評価 …上記評価結果の総括	
「平成26年度版視聴覚教材目録」を作成し、市内の教育機関・公共施設・団体等に視聴覚ライブラリー情報を提供、引き続き図書館ホームページの視聴覚ライブラリーの情報掲載や各機関との連携により利用促進を図っていく。	

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	10	05	01	0409	視聴覚教育推進事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			2,504		2,504
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		2,504		2,504

事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返	<input type="radio"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	--	----------------------------	-----------------

部経営方針における目標

文化の香り高いまちをつくります

事業開始の背景・経緯

社会教育法第5条第12号に規定する視聴覚教育に関する事務で、平成19年3月までは、岩手県中部地域視聴覚協議会として事業を実施してきた。平成19年4月からは、花巻市立花巻図書館に事務事業が引き継がれ、事業を実施している。

事業概要

視聴覚教育事業

- ・視聴覚資料の貸出（随時）
- ・16ミリ映写機操作技術講習会
- ・16ミリ映写機オーバーホール（1台）及び保守点検（7台）
- ・図書館こども映画会（毎月1回）
- ・夏・冬・春休みこども映画会（各1回）
- ・子どもの読書週間時 1回
- ・秋の読書週間時 1回
- ・休日ほっと映画会（毎月1回）

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

視聴覚資料の紹介や機器の利用促進を図るとともに、映画会等事業に参加しやすい日程や時間帯を再検討し、参加者の増員に努める。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 花巻図書館 担当係長 吉田郁子 内線 8-383

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

- ① 視聴覚教育の相談及び機材・資料の貸出（年間）
- ② 16ミリ映写機操作技術講習会（年1回）
- ③ 16ミリ映写機オーバーホール（1台）、保守点検（7台）
- ④ 図書館こども映画会（毎月1回）
- ⑤ 夏・冬・春休みこども映画会（各1回）
- ⑥ 子どもの読書週間時 1回
- ⑦ 秋の読書週間時 1回
- ⑧ 休日ほっと映画会（一般向 毎月1回）

○視聴覚教育事業

1 報酬	1,782千円	社会教育指導員1人
2 共済費	263千円	社会教育指導員社会保険料等
3 報償費	18千円	16mm映写機操作講習会講師謝礼
4 旅費	0千円	視聴覚教育協議会会議等
5 需用費	75千円	映写ランプ等
6 役務費	141千円	16mm映写機保守点検料等
7 備品購入費	208千円	視聴覚資料（DVD）
8 負担金補助金及び交付金	17千円	岩手県地域視聴覚教育協議会連絡協議会